

- ② 患者情報（基本情報）
- ③ 患者情報（感染症、アレルギー情報、入退院歴、受診歴）
- ④ オーダ情報（処方、検体検査、放射線）
- ⑤ 検査結果情報（検体検査）
- ⑥ 病名情報
- ⑦ 注射に関わる指示、実施情報等
- ⑧ 処置・手術

経済産業省は、平成 20 年に「医療情報システムにおける相互運用性の実証事業」（相互運用性実証事業）において基本データセットとそれらを用いたシステム間でのデータのエクспорт・インポートのためのガイドラインを整備した。

なお、基本データセットの詳細については相互運用性実証事業を紹介した以下の Web サイトにあるので参照されたい。

- ・医療情報システムにおける相互運用性の実証事業報告書

http://www.jahis.jp/sougounyou/sougounyou_top.html

また、基本データセットによりデータの互換性を確保するためのガイドラインは以下を参照されたい。

- ・JAHIS 基本データセット適用ガイドライン

<http://www.jahis.jp/standard/seitei/st07-102/st07-102.htm>

5.1.2 用語集・コードセット

さらに、基本データセットの利用において、医療情報システム開発センター（MEDIS-DC）が整備する標準マスターと組み合わせることによって、容易にデータの互換性を確保できる。

病 名：病名マスター（ICD10 対応標準病名マスター）

手術・処置：手術・処置マスター

臨床検査：臨床検査マスター（生理機能検査を含む）

医薬品：医薬品 HOT コードマスター

医療機器：医療機器データベース

看護用語：看護実践用語標準マスター

症状所見：症状所見マスター<身体所見編>

歯科病名：歯科病名マスター

歯科手術等：歯科手術・処置マスター

画像検査：画像検査マスター

J - MIX：電子保存された診療録情報の交換のためのデータ項目セット

- ・MEDIS 標準マスター類